自治医大卒業生女性医師支援ＮＥＷＳ

令和5年７月　地域医療推進課発行

◇卒後ワークライフバランスについて考える会報告◇

講演1
「義務年限をおえて」

佐藤　知香　先生
宮城県37期卒業
浜松医科大学医学部附属病院勤務

講演2
「卒後ワークライフバランス
～離島勤務を経て～」
徳野　隼人　先生
東京都41期卒業
都立広尾病院勤務

6月17日(土)に「地域医療とワークライフバランス～自分らしいキャリアとは～」をテーマに、「卒後ワークライフバランスについて考える会 2023 in Jichi」を開催しました。平成 24 年度から開催している本会も、今回で13回目の開催となりました。例年、医学部学生寮で開催しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、昨年に引き続き、Web 会議システム Zoom を用いて開催しました。当日は81名(卒業生22名、学生46名、関係者13名)にご参加いただきました。

会の前半では、佐藤知香先生(宮城県37期)、徳野隼人先生(東京都41期)の2名の卒業生からご講演いただきました。佐藤先生からは、学位取得や専門医取得などのキャリアとご家庭の両立について、ご自身の経験談を交えながら学生の背中を押してくださるようなお話をいただきました。徳野先生からは、離島勤務をされていた際の印象深い症例やエピソード、卒業生同士のご夫婦における離島でのご家庭と仕事の両立についてお話いただき、参加者は熱心に耳を傾けておりました。

後半は意見交換として、Zoom のブレイクアウトルーム機能を用いて小グループに分かれ、参加している卒業生と学生でディスカッションを行いました。意見交換のテーマを「自分らしいキャリアとは」として、「自分らしさ」とは何か、考えてもらう機会としました。チューターとして、医学部同窓会長の小野剛先生(秋田県 6 期)、牧野伸子先生(大阪府 10 期)、十枝めぐみ先生(香川県 13 期)、横谷倫世先生(奈良県 21 期)、定金敦子先生(福岡県 22 期)、影向一美先生(新潟県 24 期)、新井由季先生(栃木県 25 期)、山本智美先生(北海道 33 期)、松平慶先生(東京都41期)、菅谷涼先生(栃木県 37 期)、高橋美砂先生(岡山県 39 期)、神徳穂乃香先生(茨城県 39 期))の 12 名の卒業生をお招きし、グループディスカッションを行いました。

会の開始前には、卒後指導委員会女性医師支援担当教員が学生寮に出向き、参加学生へお弁当を配付しました。また、本会は医学部同窓会に協賛をいただいており、参加した学生全員にお菓子の差し入れをいただきました。この場をお借りして、深く御礼申し上げます。

次回の開催は来年度を予定しております。今回参加できなかった方も来年はぜひご参加ください。

問合先　自治医科大学大学事務部地域医療推進課　担当：太田、長岡
TEL：0285-58-7055　FAX：0285-44-6274　E-mail：chisui@jichi.ac.jp
女性医師支援 NEWS 隔月発行中！地域医療推進課のホームページからご覧いただけます。

自治医大　地推課　検索